

営業報告

2025年4月1日～2025年9月30日
第67期中間報告書

目 次

01 株主の皆様へ

02 トピックス

03 当第2四半期の
業績について

06 トピックス2

07 当第2四半期の概況

09 株式に関する事項

10 会社概要

株主の皆様へ

Message

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第67期第2四半期（2025年4月1日～2025年9月30日）における決算の概要をご報告申し上げます。

当期における経営環境は、自動車産業を中心に米国の通商政策の影響により一部で足踏みがみられますが、緩やかに回復してきております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、生成AIに牽引されたHBM向け装置の需要は高水準で推移しておりますが、自動車や産業機器向けでは引続き設備投資が抑制傾向にあることなどから、全体としては持ち直しの動きがみられるものの、回復に遅れが見られました。

このような経営環境のもと、当社では、引続き中長期での需要の増加に備えた必要な先行投資を行うとともに、お客様の装置の付加価値向上に資する製品の提供に努めてまいりました。

株主の皆様におかれましては、引き続きより一層のご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

菊地 豊



持続可能な社会の実現に向けた新たな方針の制定・改訂について

当社は、ESG経営の強化と持続可能な社会の実現に向けて、以下の方針を制定・改訂しました。

1. 制定・改訂の概要

今回、新たに「アバールデータ 人権方針」「アバールデータ 調達方針」「アバールデータ 責任ある鉱物調達方針」を制定し、「アバールデータ 環境方針」を改訂しました。

- ・アバールデータ 人権方針(新規制定): 企業理念に基づき、人権尊重を基本原則とし、すべての事業活動でその責任を果たします。
- ・アバールデータ 環境方針(改訂): ライフサイクル全体を通じた環境負荷低減や脱炭素社会への貢献を強化。
- ・アバールデータ 調達方針(新規制定): 責任ある調達を推進し、持続可能なサプライチェーン構築を目指します。
- ・アバールデータ 責任ある鉱物調達方針(新規制定): OECDガイダンスに基づき、サプライチェーンの透明性を確保し、責任ある鉱物調達を推進。
- ・責任ある鉱物調達(OECDガイダンスに基づく調達の透明性確保)

2. 今後の取り組み

当社は、これらの方針に基づき、サステナビリティ経営の推進を強化し、ステークホルダーとの協働を進めてまいります。

第67期中間配当の実施について

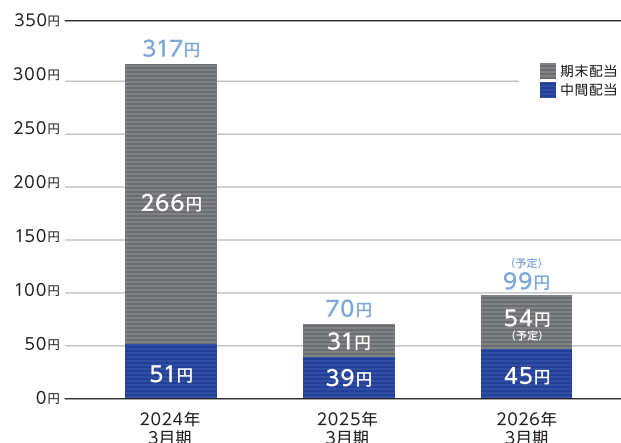
当社は、将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、配当性向35%を基本に、株主の皆様への成果配分を行っております。

当期の配当金につきましては、このような基本方針のもと、中間配当を1株当たり45円とさせていただきます。

また、期末の配当金は、54円とし、年間合計99円(前期実績: 70円)を予定しております。

なお、2024年3月期実績の配当原資には政策保有株式の売却が含まれております。

また、2026年3月期より、安定配当にかかる下限の補完指標としてDOE(純資産配当率)を採用し、3.0%を基本といたします。



当第2四半期の業績について

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当 期 2025年4月1日～ 2025年9月30日
売上高	5,591	4,294
売上原価	3,844	3,085
売上総利益	1,747	1,208
1 販売費及び一般管理費	971	891
営業利益	775	316
営業外損益	80	65
経常利益	856	381
中間純利益	616	281

1 販売費及び一般管理費891百万円には、今後の製品展開のための研究開発及び広告宣伝の費用426百万円が含まれております。

2 現金及び預金が有価証券の満期償還やその他に計上していた未収還付法人税等の還付等により1,286百万円、商品及び製品63百万円が増加し、受取手形、売掛金及び契約資産113百万円、原材料及び貯蔵品340百万円が減少した結果等により、97百万円減少し16,076百万円となりました。

3 投資有価証券が時価変動等の要因により720百万円が増加した結果、634百万円増加し6,697百万円となりました。

4 未払法人税等141百万円が増加し、支払手形及び買掛金264百万円が減少した結果等により、270百万円減少し1,385百万円となりました。

5 繰延税金負債208百万円が増加した結果、729百万円となりました。

6 利益剰余金90百万円、時価変動の要因により、その他有価証券評価差額金493百万円が増加した結果等により、599百万円増加し20,658百万円となりました。

貸借対照表(要旨)

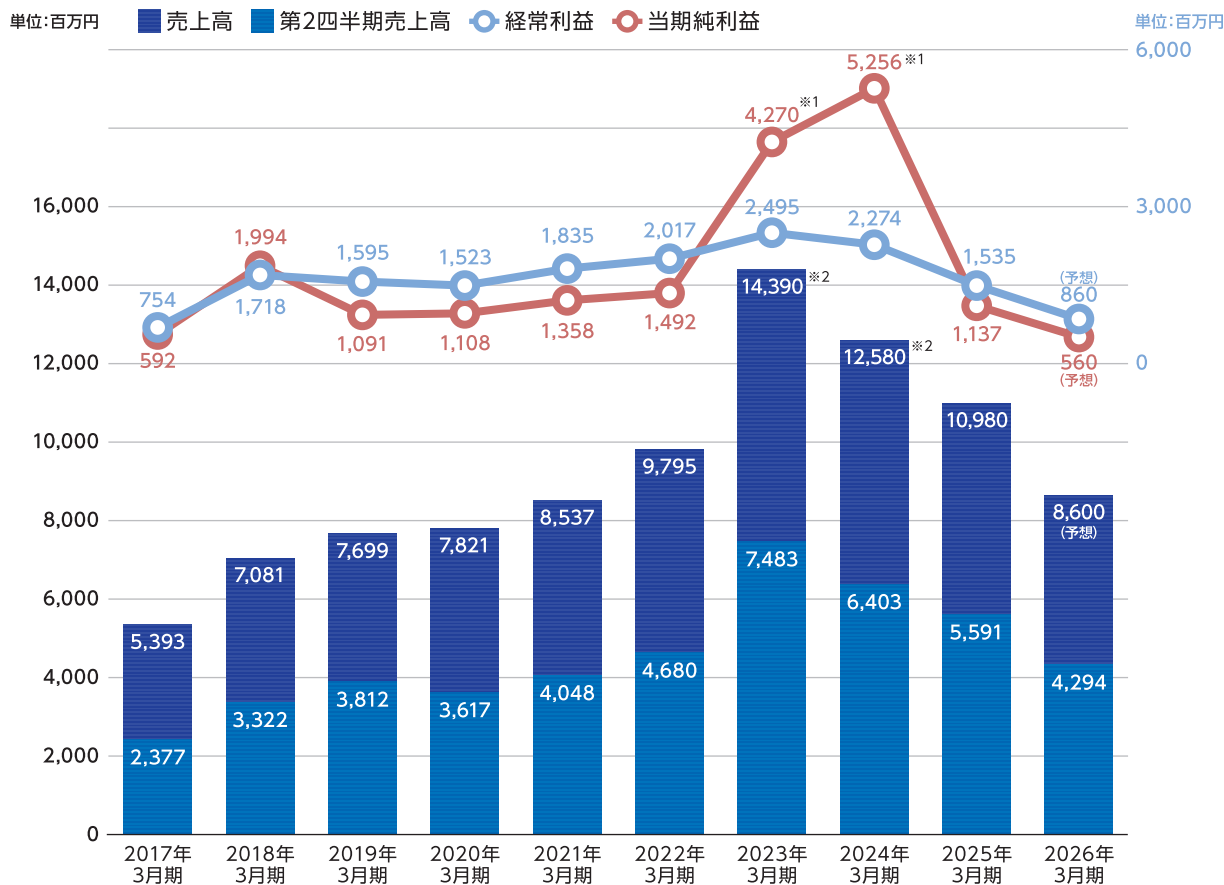
(単位:百万円)

科 目		前期年度末 2025年3月31日現在	当 期 2025年9月30日現在
■資産の部			
2 ← 流動資産		16,173	16,076
現金及び預金		6,124	7,411
受取手形、売掛金及び契約資産		2,022	1,909
電子記録債権		413	321
商品及び製品		776	839
仕掛品		295	285
原材料及び貯蔵品		5,534	5,193
その他		1,006	114
3 ← 固定資産		6,063	6,697
有形固定資産		3,227	3,143
無形固定資産		56	50
投資その他の資産		2,780	3,502
投資有価証券		2,702	3,423
その他		77	79
資産合計		22,236	22,773

(単位:百万円)

科 目		前期年度末 2025年3月31日現在	当 期 2025年9月30日現在
■負債の部			
4 ← 流動負債		1,655	1,385
支払手形及び買掛金		1,160	896
その他		494	489
5 ← 固定負債		522	729
負債合計		2,177	2,115
■純資産の部			
株主資本		18,678	18,784
資本金		2,354	2,354
資本剰余金		2,444	2,455
利益剰余金		14,567	14,657
自己株式		△687	△682
評価・換算差額等		1,380	1,873
6 ← 純資産合計		20,059	20,658
負債純資産合計		22,236	22,773

売上高／経常利益／当期純利益



※1 2023年3月期、2024年3月期の当期純利益には政策保有株式の売却益が含まれております。

※2 2023年3月期には3,559百万円、2024年3月期には370百万円売上高実績に高額部材の価格転嫁分が含まれております。

新製品：フレームグラバボード APX-36C1

「APX-36C1」は、CoaXPress の伝送プロトコルを採用した光ファイバ伝送規格「CoaXPress over Fiber」に対応した製品で、産業用画像インターフェースとして最速の100Gbpsの伝送を実現します。

汎用的な光ファイバケーブルでの接続に対応しており、OM4対応の光ファイバケーブルで最長100mの長距離画像伝送が可能となっています。



第67期第2四半期に出展したおもな展示会

OPIE'25

2025年4月23日～25日 (パシフィコ横浜)



COMNEXT 次世代通信技術&ソリューション展

2025年7月30日～8月1日 (東京ビッグサイト)



当第2四半期の概況

当社は、事業内容を受託製品と自社製品の2つの報告セグメントに分けております。

1. 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。一部顧客の受注残の製品が完成、納入が進んだことにより、全体としては概ね想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は2,784百万円(前年同期比21.1%減)、セグメント利益(営業利益)は234百万円(前年同期比58.3%減)となりました。

■ 受託製品 半導体製造装置関連

半導体製造装置の制御部を提供しております。

受注残の製品の完成、納入が進みましたが、一部で生じた在庫調整が続いており、全体としては想定をやや下回り推移いたしました。この結果、売上高は1,962百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

■ 受託製品 産業用制御機器

各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。

検査装置やFA関連の一部顧客が堅調に推移しましたが、全体としては想定をやや下回り推移いたしました。この結果、売上高は518百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

■ 受託製品 計測機器

各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。

受注残の製品完成、納品が進み想定をやや上回り推移いたしました。この結果、売上高は303百万円(前年同期比57.7%増)となりました。

2. 自社製品

当該セグメントは、組み込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。

計測通信機器の一部顧客で在庫調整が続いており、前年同期比では減少となりましたが、全体としては想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,509百万円(前年同期比26.8%減)、セグメント利益(営業利益)は399百万円(前年同期比31.6%減)となりました。

■ 組み込みモジュール

半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。

FA関連の停滞が続いておりますが、医療機器関連、電力関連の一部顧客に需要の回復が見られ、全体としては想定をやや上回り推移いたしました。この結果、売上高は229百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

■ 画像処理モジュール

FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。一部顧客の需要増もあり、全体としては想定を上回り推移いたしました。この結果、売上高は664百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

■ 計測通信機器

超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。

「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、一部顧客の在庫調整が続いており、前年同期比で減少となりましたが、概ね想定どおり推移いたしました。この結果、売上高は483百万円(前年同期比49.4%減)となりました。

■ 自社製品関連商品

自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。

自社製品関連商品は、想定を上回り推移いたしました。この結果、売上高は131百万円（前年同期比193.4%増）となりました。

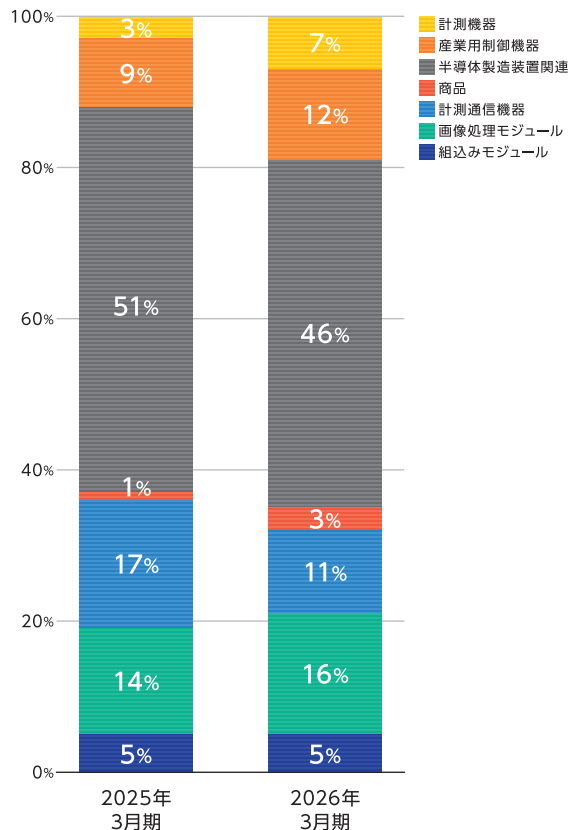


ハイパースペクトルカメラ

AHS-052VIR

可視光だけでは見ることのできなかった対象物をXY座標の2次元空間情報と波長軸（ハイパースペクトル）情報を同時取得、ソニー製IMX992搭載により、可視光から近赤外帯域まで業界最高水準の解像度で非破壊・非接触で測定や検査をすることが可能

■ 第2四半期売上構成比率 （前年同期との比較）



株式の状況（2025年9月30日現在）

発行可能株式総数	23,500,000株
株式の種類	普通株式
発行済株式の総数	7,117,842株
株主数	7,826名
単元株式数	100株

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日

大株主（上位10名）

株主名	持株数
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505025	721,600株
株式会社ニコン	646,700株
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 009-016064-326 CLT	143,000株
嶋村 清	140,000株
MSIP CLIENT SECURITIES	125,500株
佐々木 嘉樹	120,000株
アバーングループ社員持株会	114,884株
レーザーテック株式会社	109,500株
イーソル株式会社	107,000株
中村 豊徳	82,000株

当社のIRに関して

当社は、投資家の皆様に、広く当社をご理解いただくため、適時・適切な情報開示に努め、IR活動の充実を図っております。

株主様をはじめ個人投資家の皆様には、工場見学会、決算説明会の開催を通じ、当社及び当社製品についてのご理解を深めていただくことを心掛けております。

またアナリスト、機関投資家向け決算説明会を年2回定期的に開催し、当社の経営状況について経営者より直接ご説明をさせていただいております。



決算説明会

決算説明会・工場見学会	2025年5月21日(水)	2025年3月期決算説明会：丸ビルホール&コンファレンススクエア8階ルーム4
	2025年11月21日(金)	2026年3月期第2四半期決算説明会及び工場見学会：当社厚木事業所

商 号	株式会社アバールデータ
資本金	23億5,409万円
設立年月日	1959年(昭和34年)8月
社員数	203名(2025年9月30日現在)
事業内容	一般通信機器の製造販売、工業用計測器並びに工業用制御装置の製造販売、物理、化学、医学用等の電子装置の製造販売、その他の各種電子応用装置の製造販売
役 員	
代表取締役社長	菊地 豊
常務取締役	岩本 直樹
取締役	村田 英孝
取締役	加藤 弘達
取締役	三川 宏
取締役 常勤監査等委員	熊澤 陽一
取締役 監査等委員	金子 健紀
取締役 監査等委員	石塚 陽子
取締役 監査等委員	岡田 登志夫



アバールデータの経営理念、A'VALue+（エー・バリュー・プラス）とは、それぞれ以下の頭文字を、加えて生まれた造語です。

A'VAL:「Available:有用性」から付けられた当社の社名AVAL。

そのうえA'には:技術の「Advance:先進性」、その品質の「Assure:保証」、サービスや対応の「Agile:早さ」など様々な「価値」の意味を表しています。

u:私たちの会社の理念「顧客を第一に考える」の姿勢(u[user oriented])e:「エレクトロニクス」に代表される当社の技術(e[e-solution])。

そして+:にはA'VALueを進める推進力として社員一人一人が持っている潜在力を一つのベクトルにあわせて働きかけ加速させ、いつでもお客様に必要な価値を追及し提供する決意を表しています。

株式事務のご案内

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
各種お問合せ先
郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

よくあるご質問(FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

公告方法

電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

当社のWebサイトアドレス

<https://www.avaldata.co.jp>

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

証券コード6918

株式会社 **アバールデータ**

〒194-0023 東京都町田市旭町1-25-10
TEL 042-732-1000 FAX 042-732-1022
<https://www.avaldata.co.jp>

